



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年5月8日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

失意が誇りに 旅が変えた価値観

8日(日) = 1、3面

迫る



大阪市の旅行会社「とことこあーす」の社長、戸田愛さん(37) =写真右=は、長男がダウン症と診断された時、失意の底に沈んでいました。思い描いていた人生を歩めないと考えてしまったのです。でも、家族で大好き

な旅に出たことで長男の障害に対する気持ちは変化していきました。さらに、若い頃から憧れていた世界一周旅行に家族5人で出掛けたことで大きく変わりました。200日を超える旅は、家族の「誇り」になりましたし、新たな旅の価値を見いだす

きっかけにもなったのです。新型コロナウイルス禍が終息せず、旅行業は苦戦していますが、戸田さんは悲観せず「旅行業は変わる」と確信しています。旅を通じた戸田さんの思いに迫ります。

特集ワイド

2人の権力者 共通点どこに

9日(月) = 夕刊特集ワイド面

ロシアのプーチン大統領はウクライナ侵攻を強行し、民間人の被害を広げています。そこで思い起こされるのは、かつて旧ソ連で肅清を重ねた指導者、スターリン =写真=です。「強い国家」を掲げ

るプーチン氏と、「独裁体制」を築いたスターリン。この2人の権力者の共通点はどこなのか。新書「スターリン」の著者で、ロシア政治外交が専門の慶応大名譽教授、横手慎二さんに聞きました。



戦後27年間、米軍統治下にあった沖縄県が日本に復帰して50年となるのを記念して4月28日、「沖縄復帰50年を問う」と題したシンポジウムが東京都内で開かれました。パネリストとして登壇した沖縄県



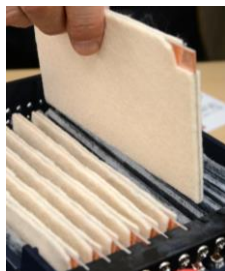
沖縄復帰50年を問う

13日(金) || オピニオン面

の玉城デニー知事、アジア調査会の五百旗頭真会長、沖縄持続的発展研究所の真喜屋美樹所長、上智大の宮城大蔵教授の4氏が、沖縄との関わりや基地問題など、多岐にわたって議論しました。

次世代の電池・マグネシウム電池とは？

12日(木) = 科学面



「次世代電池」の呼び声が高まっているマグネシウム電池 =写真=。資源量がほぼ無尽蔵で、食塩水を注ぐだけで発電でき、高熱や騒音、排ガスを出さず、取り扱いが簡単だというメリットがあります。東京工業大の矢

部孝名誉教授(数値流体力学)は、従来の市販品の約10倍の出力を誇る独自の電池を開発、製品化しました。マグネシウム電池が切り開く未来の循環型社会とはどのようなものか、取材しました。

毎日新聞

150

2022年2月21日 毎日新聞創刊150年



竹橋の窓辺から

編集後記

